

危険なごみ

スプレー缶、カセットボンベ、
灯油タンク……



↑手前はスプレー缶、奥はカセットボンベ



↑これはひどい!! 不燃ごみの中から発見されたプロパンガスボンベ

衛生組合には、みなさんの家庭や事業所から集められた可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみが毎日たくさん運び込まれてきます。このごみの中には、火災や爆発事故の原因になるとても危険なごみが混じっていることがあります。

危険なごみの代表選手が、スプレー缶、卓上コンロのカセットボンベ、石油ストーブの灯油タンクなどです。信じられないことですが、LPガスボンベがごみとして出されることもあります。不燃ごみや粗大ごみとして出された場合、これらのごみは、粗大ごみ処理施設で細かく砕かれますが、この際に発生する火花がボンベやタンクに残っているガスや燃料に引火し、爆発したり、火災になったりする危険性があります。また、ごみ収集車の火災事故もこれら危険なごみが原因と考えられます。

ごみを出すときは、ごみ出しのルールを必ず守ってください。
あなたの出したごみが、知らないところで火災や事故の原因になるかもしれません。

品 目	ごみとして出す前の処理のしかた
○スプレー缶	使い切ってから、火の気のない風通しのよいところで穴をあけてください。
○カセットボンベ	
○石油ストーブ	灯油を使い切って、乾電池を抜いてください。
○石油ファンヒーター	

※LPガスボンベは、販売店に持ち込んで、引き取ってもらいます。

ごみ組成分析調査隊からの報告

ごみ組成分析調査(第10回)を、去る10月19日(土)に実施しました。今回は、38名の方の参加をいただき、組織市3市から搬入された不燃ごみを大きなシートの上に広げ、調査を行いました。市により多少のばらつきはありますが、平均すると不燃ごみの中に可燃物が約13%、資源物が約18%含まれており、皆さんにはさらなる分別にご協力をお願いします。



参加者からは次のような意見や感想がありました。

- 資源として再利用できるものが、こんなに含まれているとは、もったいない
- 分別するのは大変だけど、一人ひとりが真剣に取り組まなければいけませんね
- 参加してよかった。これからはもっと、リサイクルやごみ減量、正しい分別に努めます
- 包装紙やビニールの買い物袋が結構多いことに驚きました
- 分別やリサイクルの不徹底の実態は参加してみないと実感できない
- 市民みんながこうした調査に参加すればいいのに

募集 ごみ組成分析調査隊員

- 調査日時 平成15年3月1日(土) 午前9時から正午まで
- 集合場所 小平・村山・大和衛生組合
- 募集人員 60名(各市20名)
- 申込締切 平成15年2月17日(月)
- ※ 参加者には「調査隊マニュアル」を事前にお送りします。
- 申 込 先
小平市環境部リサイクル推進課 (電話 042-346-9535)
東大和市生活環境部ごみ対策課 (電話 042-563-2111)
武蔵村山市生活環境部環境課 (電話 042-565-1111)
小平・村山・大和衛生組合総務課 (電話 042-341-4345)

VOICE

編集後記

衛生組合の橋を通る小平市道A-1号線、通称「松の木通り」といわれております。その名にあるとおり沿接する野火止用水緑道には松並木があります。冬の閑、葉が落ちて寒々とした広葉樹の中で、針葉樹である松は表紙の写真のとおり一年中青々とした葉を茂らせています。

さて、今号が発行される1月20日頃は、二十四節季の「大雪」にあたります。一年中で最も寒い時季とされています。まだまだ寒い日が続きますが、もうしばらく辛抱すれば、新芽が芽吹く暖かな春が迎えてきます。すると同時に、「松の木通り」や野火止用水緑道に冬枯れした木立が並ぶ風景から新緑が眩しいものへと移り変わってまいります。しかしその頃には、もう次号の編集に取り掛かっている頃ではないでしょうか。なんと時の経つのが早いことか……では、また次号でお会いしましょう。

発行元

小平・村山・大和衛生組合
〒187-0001 小平市中島町2番1号
電話 042-341-4345
平成15年1月発行

小平・村山・大和衛生組合は、小平市、東大和市、武蔵村山市3市の市民生活の中から出るごみを処理する清掃工場を管理運営する一部事務組合(特別地方公共団体)です。

小平・村山・大和衛生組合

えんとつ

No.12

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。



バグフィルターの設置工事が進んでいます

大気中のダイオキシン類調査(夏季)の結果報告

平成13年度決算の概要

ごみ組成分析調査隊からの報告

危険なごみ
スプレー缶、
カセットボンベ、
灯油タンク……

大気中のダイオキシン類調査(夏季)の結果をお知らせします。

衛生組合では、平成11年度から年2回(夏季と冬季)、立川市と連携して、清掃工場周辺の大気中のダイオキシン類調査を実施しています。このたび平成14年度夏季の調査結果がまとまりましたのでお知らせします。結果は、すべての調査地点で環境基準(0.6pg-TEQ/m³以下)を下回るものでした。

なお、環境省が定める「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」が改訂され、今回の調査からサンプリング時間が従来の24時間から168時間(1週間)に変更されています。

	調 査 地 点	平成14年度調査結果 (平成14.8.1～8.8調査)	(参考) 平成13年度調査結果	
			平成13.8.7 ～8.8調査	年 平 均 値
小平・村山・大和 衛生組合	東大和市立第二小学校	0.064	0.19	0.23
	中島地域センター	0.059	0.18	0.22
	上水新町地域センター	0.055	0.17	0.21
立 川 市	立川市立幸小学校	0.059	0.19	0.21
	立川市立第八小学校	0.061	0.18	0.15
	立川市立若葉小学校	0.058	0.20	0.22

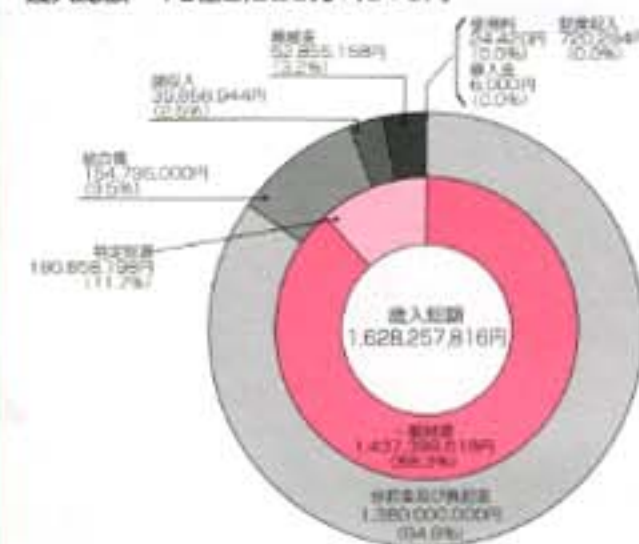
注② TEQは、毒性等量のことです。ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値です。

注② TEQは、毒性等量のことです。ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値です。

◆◆◆ 平成13年度決算の概要 ◆◆◆

歲入

歳入総額 16億2,825万7,816円

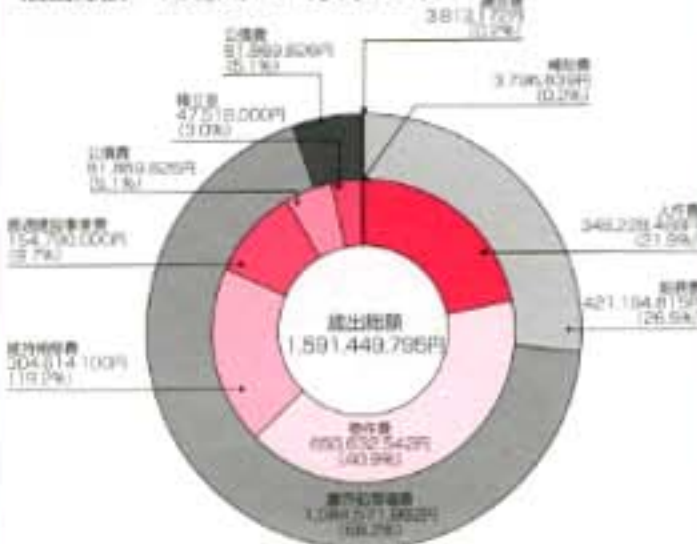


（購入の主な内容）

- | | |
|------------------------|------------|
| ○組織市からの収入(分税) | 13億8,000万円 |
| ○他の清掃工場からの収入など(諸収入) | 3,986万円 |
| ○有価物の売払い収入など(使用料、財産収入) | 75万円 |
| ○前年度の残額(繰越金) | 5,285万円 |
| ○建設事業の借入金(借入金) | 1億5,479万円 |

歲出

歳出総額 15億9,144万9,795円



(織出の主な内訳)

- | | |
|------------------------|-----------|
| ○職員給料など(人件費) | 3億4,823万円 |
| ○借入金の返還(公債費) | 8,187万円 |
| ○施設運営の費用(物件費、維持補修費、雑費) | 9億5,904万円 |
| ○基金への積立て(積立金) | 4,751万円 |
| ○排ガス処理施設整備工事(普通建設事業費) | 1億5,479万円 |

平成15・16年度 入札参加願の受付

受付業務 工事請負
受付期間 1月27日(月)～31日(金)
受付時間 午前9時～11時、午後1時30分～4時
受付場所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉3階会議室
用紙の配布 1月31日(金)まで 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉3階事務室
※ホームページからダウンロードもできます。

より環境に配慮した清掃工場とするために
バグフィルター設置工事が進んでいます

「えんとつ」第11号で工事計画のあらましをお知らせいたしましたが、より環境に配慮した清掃工場とするために進められておりますバグフィルターの設置工事は順調に進み、昨年6月に現場着工した5号炉は、9月末で工事を終了し試運転から通常運転に移っています。4号炉は8月末から工事が始まり、11月末で工事を終了し試運転に入っています。さらに、3号炉では11月末に着工し、本年2月中旬には工事を終了する予定です。その後、各種性能試験を行い、3月末には3号炉全ての工事が完了します。

1. バグフィルターとは？

ごみを焼却する際に発生する排ガスの中には、ばいじんやダイオキシン類が含まれています。
バグフィルター（ろ過式集じん器）は、家庭にある電気掃除機と同じ原理で排ガス中のばいじんを捕集する設備です。
筒状の集じん袋（ろ布）がたくさん並んでおり、通過する排ガスからばいじんを取り除き、きれいな排ガスにします。

【ろ布の数】

3号炉には長さ6メートルのろ布が874本、4・5号炉には長さ6.2メートルのろ布が608本ずつ取り付けられます。(写真1)

2. 工事の内容

今回のバグフィルター設置工事は、大きく分けると三つの工事で構成されています。

①バグフィルター設置工事

従来の電気集じん器をよりばいじんの捕集能力の高いバグフィルターに取り替える工事です。(写真2)

②ガス冷却用熱交換器設置工事

バグフィルター入口の排ガス温度を摂氏200度以下に下げるための熱交換器を設置する工事です。通過する排ガスの温度が摂氏240度を超えると、バグフィルターのろ布はこわれてしまいます。また、排ガス温度を摂氏200度以下で運転することはダイオキシン類の再合成を抑える有効な方法でもあります。

③誘引送風機の取替工事

誘引送風機は、排ガスを煙突に導き大気中に放出するための設備です。電気集じん器をバグフィルターに取り替えることにより、排ガスが通過する際の抵抗が大きくなりますので、それに対応した誘引送風機に取り替えます。



▲写真1



▲写真2

3. 工事期間中のごみ処理について

工事期間中であっても、衛生組合には毎日ごみが運び込まれてきます。このごみの焼却処理をしながら工事を進めなければならないため、工事は3炉ある焼却炉について1炉ずつ順次停止して行っています。しかしながら、工事期間中の一時期、どうしても処理しきれないごみが一部出てきます。そのために衛生組合では「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定」に基づいて、近隣の立川市と国分寺市の清掃工場に処理できないごみの焼却をお願いしています。

ごみ処理を依頼するにあたり、市民のみなさんには、今までにも増してなおいっそうのごみの減量と分別にご協力をお願いします。